

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人一人に思いやりのサービスの提供と地域の皆さんとの連携の強化を心がけているがまだまだ近隣住民との交流が欠けています	事業所の理念にある機能訓練については、日々のケアの中で特に気を付けています。また、研修、他施設との交流も挙げられていますが、職員全体で理念全体を理解し、日常のケアに活かせるまでには至っていません。	管理者、職員ともに、研修、ミーティング等により、理念に対する理解を深め、認識を共有することにより日常のケアの中でそれが具体化されることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学校行事や地区の行事には積極的に参加し 公民館や体育館グラウンドでのスポーツ観戦をしています	近くの中学校の運動会、マラソン大会等に招待され見学に行っています。また、地区のカラオケ大会、公民館祭りの展示(盆栽、絵画、生け花)の見学にも出かけています。	可能なものについては、何らかのかたちで事業所自らも参加するなど、地域との積極的な交流ができることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献は まだまだ出来ていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方や地域 行政の皆さんとの連携をとりサービス向上に力を注いでいるが、決まった利用者の家族の参加になってしまっている。 欠席の家族には利用状況を毎月書面にて報告しています	市の担当、包括支援センター、民生委員、家族の代表等の参加を得て27年度は6回開催しています。出席者(民生委員)から地域の行事予定を知らせてもらい、利用者のその後の行事参加に大変役立ちました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所に出向いたり 電話等で 相談援助に取り組んでいます	生保の利用者がいることもあり市の担当とは連絡を密にしています。昨年入居者が個室の窓から無断で外出して警察の支援を受ける出来事があり、その原因、未然防止の方策などについて意見交換をした例があります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勝手に外に出る方がいるため 玄関の施錠はしているが 身体束縛をしないサービスはしています	管理者、職員とも、身体拘束をしないことを念頭に日常の支援をしています。職員に対し乱暴な言葉を使う利用者に対しても、聞き流すなどの優しい対応をとるよう意識しています。勝手に外出をする方がいるので玄関は施錠をしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニュース等で話題になっている事件等を参考に事故が起きないように心がけている また身体の観察も注意しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を活用し支援する機会があった 現在の入所者はいないが スタッフ全員が理解するように学び、活用できようになりたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を見ながら説明をした上で必ず 質問がないかを聞いています 後日疑問点が出れば電話等での対応もしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や 家族の意見には 小さな問題でも取り入れているが 外部者へ公開する機会は少ない	利用者、家族の意見は小さな問題でも取り入れるようにしていますが、家族の意見を聞くのは、電話での対応が中心です。また、毎月の費用の納金に来る際にも話を聞くようにしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1の会議において 意見交換をしている。全員の意見の反映には時間がかかりますが 努力し解決していこうと考えています	同じ系列の他の事業所の職員と共に、月に1回程度ケアに関する勉強会があり、その際、本社の管理者も出席して意見を聞くようにしています。当ホームの中では、毎日の申し送りの際に、主にケアに関する意見交換をしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人的に時間をとり 対話し職場環境や労働時間など問題点を聞き把握しています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年度は初任者研修を2名受け入れました 常に学ぶ事を大切に 時間が取れば研修に行くことを進めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会を設け関連グループとの交流をし レポートの提出や意見交換をしている、年数回合同の研修会に参加しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	無理維持をせず 本人の出来る事出来ないことなどの 情報を共用しスタッフが同じサービスを提供出来るよう務めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と協力関係を深め電話連絡や手紙などでこまめに連絡をとりあっています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず環境に慣れて頂く事を第一とし 家族や本人の必要な支援が出来るように対応しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側 介護される側との関係が強いがなるべく一緒に生活をする様に心がけています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人の関係が上手く行っている人はいいが 家族が見放している場合は共に支えている関係にはなれない。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	誰でも自由に交流出来るようになっているが こちらから出向く事は難しいが 家族のかたの協力があれば支援に努めています	知り合いの人が訪ねて来た例は2、3人ありますがこちらから知人や馴染みの場所へ行くことはあまりありません。かつて、墓参りを希望する方にスタッフが同行して行った例があります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様のお互いの状況 出来る事、出来ないことを理解し共に協力し合えるように努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられた方 他の施設に入られた方がほとんどなので 相談支援の必要が無かった		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	なるべく本人の希望を聞き努力し 共同生活に支障をきたす事が無い範囲で対応しています	意志表示のできる利用者には話をよく聞いて意向を確かめるようにしています。介護度が高く意志表示も不十分だった新入居者に対して職員がケア(パットの交換等)の都度、優しい対応をした結果、徐々に自分の意志を表すようになりました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人と家族や担当者等から情報を得て安心した生活が出来るよう努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の心身の状態をスタッフ全員で共用し小さな変化も見逃さない		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	約半数が生活保護のため家族との相談が困難である。 家族がいる方とは相談し介護計画を作成している、まら生活保護の担当者との連携を取っている	多くの入所者が他の施設から来ているので、前任者の計画を継続しながら、更に、ケアマネージャーと管理者で相談をしながら作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	体調面での気づきは 早い人が口数が少ない人に対しては 心のケアが出来ずらい 職員の考え方や捉え方の違いなどがあるため職員間でよく話し合うことが必要		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な通院サービスや 家族の方の代理の支援なども行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員や地区の婦人会の力を お借りして 本人が参加出来る 催し物などには参加支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院スタッフがいたので 一人一人にきめ細やかな対応が出来る かかりつけ医との連携も取りやすい	利用者の通院先は、かかりつけ医(2か所)や事業所の協力病院など個々ですが、いずれも通院スタッフが支援しております。その他、家族の支援により遠方のかかりつけ医に通う方もいます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタルチェックや水分補給 食事量 排泄等を把握し 伝達支援しています 毎年インフルエンザの注射を受けるようにしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ケースワーカー等と連携し 情報の共有をしています また家族や本人の希望を取り入れて安心した入退院が出来ように援助に努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族 本人の希望により3ヶ月であつたが終末期の利用者を看取る事が出来た。家族 医師 スタッフ全員が理解し チームで取り組む事が出来ました	事業所としては、看取りを実施する意向を持っていますが、それを書類化する体制はできていません。昨年の入居者で、医師、家族、スタッフなど合意の上、看取りを実施した例があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の指導で 喉のつまりに対応する訓練を受け 実践に生かしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員は 身につけているが 地域の協力関係は出来ていません	消火器業者の参加を得て消火器の点検を兼ねて訓練をしていますが、職員全体ではやっていません。	消防署の指導のもとに夜間想定訓練を職員を含めて実施されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフと利用者の関係が うまくいつている場合は良いが 日によって強い言葉がけになることがあります	自立度の低い利用者は職員に対する好みがあり自らの好みに合わない職員には、それを表面に出して接触してきますが、職員は状況に応じ、柔軟に対応するよう心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来るように支援しているが 困難である方もいるので 心を開いて下さるような言葉がけを 心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	季節の行事や利用者様からの意見を聞いて支援しているが 全員が満足していないところはあります		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔で 個人の趣味に合わせたおしゃれが出来るように支援しています 全員が女性の利用者なので 化粧や顔 手などの手入れしてもらえる利用部員を呼び喜ばれています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	レクレーションとして取り入れています 普段は職員が行っている後片づけは 個人個人でトレイを運んで 頂いています	業者から食材を購入し、職員が調理をしています。利用者には食後の後片付けを手伝ってもらっています。レクとして、年に数回バーベキューやお好み焼きをやっています。その他暑気払い、クリスマスなどにも料理を楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人 しっかり把握し 適切な量 刻み食 ペースト食など 体調に合わせた 支援をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声かけや 入歯の洗浄等支援しています 希望があれば訪問歯科を利用することが出来ます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を利用して個人の排泄がスタッフ全員が分かるようにし便や尿の排泄の自立を支援しています	全利用者について24時間排泄チェック表をつけて排泄パターンを把握するようにしています。各人により排泄パターンが異なりますので、特徴に合わせたトイレ誘導等をして自立に向けての支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分補給 散歩 下剤の服用等を観察し個々に聞き取りを行っています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	年齢や性格 室内温度 お湯の熱さ等調整し当日の隊長を聞きバイタルチェックをして楽しみながら入って頂いています	基本的には月、水、金の午後が入浴日になっています。入浴をする、しない、入浴の時間帯など個人の好みがありますが、調整してなるべく希望に合わせて入浴できるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望を聞いて 安心して休息出来る時間を支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳の活用で情報を取り入れている また薬が変わった時には特に気をつけて観察するようにしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全員が満足していないところはあるが ゲーム 塗り絵 カラオケ 散歩 の支援をしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体力や歩行の支障度合いによって外出するなど、本人の希望を優先にして支援しております 日程の調整等で家族との協力が難しい場合もあります	日常的な外出は、近隣の公園、中学校などに約40分かけて出かけています。その日の状態にもよりますが、4、5人の利用者が参加しています。外出は、本人の希望を聞いて、あけぼの山公園、清水公園などにでかけています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御自分で買い物ができるかたにはお金の所持はお願いしているが 出来ない方には共に付き添い必要な物の購入を支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話が出来る方は自ら電話をしているが 家族との連絡を取りたい希望者は支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔 を心がけている 季節のお花を飾る 室温湿度の調整等気を配り 快適な生活が出来るように対応しています	共用空間のうち、浴室、トイレなどの清潔には気を付けています。3月の雛飾り、夏の七夕飾り、秋の菊人形など季節に応じた飾りつけをしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室などで独りになれる場所はあるが 気の合う方が あまりいないので仲良く話す機会が少ない		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	9人それぞれ個性のある お部屋になっている 自分で管理出来ない物については別の部屋にて管理しています	電動ベット、洋タンス、テレビは施設の備付けになっています。その他、自分で好みのもを自由に持ち込んでよく、家族の写真、位牌などを飾っている方もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	毎日の流れに沿って 出来る事はやって頂いております。他者を理解出来るように支援することが 大変難しいです		